

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和7年9月25日)

申請者名 (法人名) _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、標題及び設問文は、一部語句等を修正または省略している場合があります。

I. 次の問題1から問題20の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
() 内に記入しなさい。

問題1 (事故の記録)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記録し、その記録を車庫において三年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題2 (選任届)

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から三十日以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。これを変更したときも同様である。
(道路運送車両法)

()

問題3 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者は、その業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 4（目的）

この法律は、下請代金の支払遅延等を防止することによつて、親事業者の下請事業者に対する取引を公正ならしめるとともに、親事業者の利益を保護し、もつて国民経済の健全な発達に寄与することを目的とする。（下請代金支払遅延等防止法）

（ ）

問題 5（解雇の予告）

使用者は、労働者を解雇しようとする場合においては、少なくとも三十日前にその予告をしなければならない。三十日前に予告をしない使用者は、三十日分以上の平均賃金を支払わなければならない。但し、天災事変その他やむを得ない事由のために事業の継続が不可能となつた場合又は労働者の責に帰すべき事由に基いて解雇する場合においては、この限りでない。（労働基準法）

（ ）

問題 6（定義）

この法律において「一般貨物自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、無償で、自動車（三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を除く。）を使用して貨物を運送する事業であつて、特定貨物自動車運送事業以外のものをいう。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 7（停車又は駐車の方法）

車両は、人の乗降又は貨物の積卸しのため停車するときは、できる限り道路の左側端に沿い、かつ、他の交通の妨害とならないようにしなければならない。（道路交通法）

（ ）

問題 8（安全衛生教育）

事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。（労働安全衛生法）

（ ）

問題 9（労働条件の決定）

労働条件は、労働者と使用者が、対等の立場において決定すべきものである。（労働基準法）

（ ）

問題 1 0 （名義の利用等の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 1 1 （報告及び検査）

中小企業庁長官は、下請事業者の利益を保護するため特に必要があると認めるときは、親事業者若しくは下請事業者に対しその取引に関する報告をさせ、又はその職員に親事業者若しくは下請事業者の事務所若しくは事業所に立ち入り、帳簿書類その他の物件を検査させることができる。（下請代金支払遅延等防止法）

（ ）

問題 1 2 （点検等のための施設）

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の使用の本拠ごとに、事業用自動車の点検及び清掃のための施設を設ける必要はない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題 1 3 （休憩）

使用者は、労働時間が六時間を超える場合においては少くとも三十分、八時間を超える場合においては少くとも一時間の休憩時間を労働時間の途中に与えなければならない。（労働基準法）

（ ）

問題 1 4 （事業の休止及び廃止）

一般貨物自動車運送事業者は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その三十日前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 1 5 （有償旅客運送の禁止）

貨物自動車運送事業を営業者は、有償で旅客の運送をしてはならない。ただし、災害のため緊急を要するときその他やむを得ない事由がある場合であつて都道府県知事の許可を受けたときは、この限りでない。（道路運送法）

（ ）

問題 1 6（過積載の防止）

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送の防止について、運転者、特定自動運行保安員その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。

（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題 1 7（事故の報告）

一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車は、程度の大小にかかわらず事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 1 8（交通事故の場合の措置）

交通事故があつたときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員（以下この節において「運転者等」という。）は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。（道路交通法）

（ ）

問題 1 9（運行管理者）

一般貨物自動車運送事業者は、第三条の許可を受けた後、速やかに、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転手のうち運転技能が優れていると認められる者から、運行管理者を選任しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 2 0（日常点検整備）

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。

（道路運送車両法）

（ ）

Ⅱ. 次の問題 2 1 から問題 2 5 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 2 1 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を提出期限までに提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則)

① 事業報告書

② 事業実績報告書

ア. 前年 1 月 1 日から 1 2 月 3 1 日までの期間に係るものを毎年 5 月 3 1 日まで

イ. 前年 4 月 1 日から 3 月 3 1 日までの期間に係るものを毎年 7 月 1 0 日まで

ウ. 前年 1 0 月 1 日から 9 月 3 0 日までの期間に係るものを毎年 1 2 月 3 1 日まで

エ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後 1 0 0 日以内

オ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後 1 2 0 日以内

カ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後毎年 7 月 3 1 日まで

①()

②()

問題 2 2 (運送約款の記載事項)

運送約款に記載しなければならない事項について誤っているものはどれか。ア～ウの中から選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

ア. 貨物自動車利用運送を行うかどうかの別

イ. 積込み及び取卸しに関する事項

ウ. 経営状況に関する事項

()

問題 2 3 (過労運転等の防止)

事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から 2 つ 選び () に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 日々雇い入れられる者

イ. 過去 1 年以内に事業用自動車で事故を起こした者

ウ. 試みの使用期間中の者 (1 4 日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)

()

()

問題 2 4 (運行記録計による記録)

貨物自動車運送事業輸送安全規則により運行記録計による乗務の記録が義務づけられる車両について、以下の文章の【 】内に当てはまる語句を下のア～キの中から選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

一般貨物自動車運送事業者等は、車両総重量が【 ① 】以上又は最大積載量が【 ② 】以上の普通自動車である事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を【 ③ 】保存しなければならない。

ア. 4 トン	イ. 5 トン	ウ. 7 トン	エ. 8 トン	オ. 1 年間	カ. 2 年間	キ. 3 年間
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

①()

②()

③()

問題 2 5 (目的)

次の(1)及び(2)に当てはまる語句として正しいものを1つ選び、()内に記入しなさい。

この法律は、貨物自動車運送事業の運営を適正かつ(1)なものとするとともに、貨物自動車運送に関するこの法律及びこの法律に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主的な活動を促進することにより、輸送の安全を確保するとともに、貨物自動車運送事業の健全な発達を図り、もって(2)の増進に資することを目的とする。(貨物自動車運送事業法)

ア. 効率的	イ. 合理的	ウ. 安定的	エ. 経済	オ. 公共の福祉	カ. 利用者の利便
--------	--------	--------	-------	----------	-----------

(1) ()

(2) ()

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和7年9月25日)

申請者名 (法人名) _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、標題及び設問文は、一部語句等を修正または省略している場合があります。

I. 次の問題1から問題20の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
() 内に記入しなさい。

問題1 (事故の記録)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記録し、その記録を車庫において三年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(×)

問題2 (選任届)

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から三十日以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。これを変更したときも同様である。
(道路運送車両法)

(×)

問題3 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者は、その業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題4（目的）

この法律は、下請代金の支払遅延等を防止することによつて、親事業者の下請事業者に対する取引を公正ならしめるとともに、親事業者の利益を保護し、もつて国民経済の健全な発達に寄与することを目的とする。（下請代金支払遅延等防止法）

（ × ）

問題5（解雇の予告）

使用者は、労働者を解雇しようとする場合においては、少なくとも三十日前にその予告をしなければならない。三十日前に予告をしない使用者は、三十日以上平均賃金を支払わなければならない。但し、天災事変その他やむを得ない事由のために事業の継続が不可能となつた場合又は労働者の責に帰すべき事由に基いて解雇する場合においては、この限りでない。（労働基準法）

（ ○ ）

問題6（定義）

この法律において「一般貨物自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、無償で、自動車（三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を除く。）を使用して貨物を運送する事業であつて、特定貨物自動車運送事業以外のものをいう。（貨物自動車運送事業法）

（ × ）

問題7（停車又は駐車の方法）

車両は、人の乗降又は貨物の積卸しのため停車するときは、できる限り道路の左側端に沿ひ、かつ、他の交通の妨害とならないようにしなければならない。（道路交通法）

（ ○ ）

問題8（安全衛生教育）

事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。（労働安全衛生法）

（ ○ ）

問題9（労働条件の決定）

労働条件は、労働者と使用者が、対等の立場において決定すべきものである。（労働基準法）

（ ○ ）

問題 1 0 （名義の利用等の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。（貨物自動車運送事業法）

（ × ）

問題 1 1 （報告及び検査）

中小企業庁長官は、下請事業者の利益を保護するため特に必要があると認めるときは、親事業者若しくは下請事業者に対しその取引に関する報告をさせ、又はその職員に親事業者若しくは下請事業者の事務所若しくは事業所に立ち入り、帳簿書類その他の物件を検査させることができる。（下請代金支払遅延等防止法）

（ ○ ）

問題 1 2 （点検等のための施設）

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の使用の本拠ごとに、事業用自動車の点検及び清掃のための施設を設ける必要はない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ × ）

問題 1 3 （休憩）

使用者は、労働時間が六時間を超える場合においては少くとも三十分、八時間を超える場合においては少くとも一時間の休憩時間を労働時間の途中に与えなければならない。（労働基準法）

（ × ）

問題 1 4 （事業の休止及び廃止）

一般貨物自動車運送事業者は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その三十日前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ○ ）

問題 1 5 （有償旅客運送の禁止）

貨物自動車運送事業を経営する者は、有償で旅客の運送をしてはならない。ただし、災害のため緊急を要するときその他やむを得ない事由がある場合であつて都道府県知事の許可を受けたときは、この限りでない。（道路運送法）

（ × ）

問題 1 6（過積載の防止）

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送の防止について、運転者、特定自動運行保安員その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。

（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ○ ）

問題 1 7（事故の報告）

一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車は、程度の大小にかかわらず事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ × ）

問題 1 8（交通事故の場合の措置）

交通事故があつたときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員（以下この節において「運転者等」という。）は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。（道路交通法）

（ ○ ）

問題 1 9（運行管理者）

一般貨物自動車運送事業者は、第三条の許可を受けた後、速やかに、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転手のうち運転技能が優れていると認められる者から、運行管理者を選任しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ × ）

問題 2 0（日常点検整備）

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。

（道路運送車両法）

（ ○ ）

Ⅱ．次の問題 2 1 から問題 2 5 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 2 1 （事業報告書及び事業実績報告書）

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を提出期限までに提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び、（ ）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業報告規則）

① 事業報告書

② 事業実績報告書

ア．前年 1 月 1 日から 1 2 月 3 1 日までの期間に係るものを毎年 5 月 3 1 日まで

イ．前年 4 月 1 日から 3 月 3 1 日までの期間に係るものを毎年 7 月 1 0 日まで

ウ．前年 1 0 月 1 日から 9 月 3 0 日までの期間に係るものを毎年 1 2 月 3 1 日まで

エ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後 1 0 0 日以内

オ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後 1 2 0 日以内

カ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後毎年 7 月 3 1 日まで

①(エ)

②(イ)

問題 2 2 （運送約款の記載事項）

運送約款に記載しなければならない事項について誤っているものはどれか。ア～ウの中から選び、（ ）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則）

ア．貨物自動車利用運送を行うかどうかの別

イ．積込み及び取卸しに関する事項

ウ．経営状況に関する事項

(ウ)

問題 2 3（過労運転等の防止）

事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から 2 つ 選び（ ）に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア．日々雇い入れられる者

イ．過去 1 年以内に事業用自動車で事故を起こした者

ウ．試みの使用期間中の者（1 4 日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。）

（ ア ）

（ ウ ）

問題 2 4（運行記録計による記録）

貨物自動車運送事業輸送安全規則により運行記録計による乗務の記録が義務づけられる車両について、以下の文章の【 】内に当てはまる語句を下のア～キの中から選び記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

一般貨物自動車運送事業者等は、車両総重量が【 ① 】以上又は最大積載量が【 ② 】以上の普通自動車である事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を【 ③ 】保存しなければならない。

ア．4 トン	イ．5 トン	ウ．7 トン	エ．8 トン	オ．1 年間	カ．2 年間	キ．3 年間
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

①（ ウ ）

②（ ア ）

③（ オ ）

問題 2 5 (目的)

次の(1)及び(2)に当てはまる語句として正しいものを1つ選び、()内に記入しなさい。

この法律は、貨物自動車運送事業の運営を適正かつ(1)なものとするとともに、貨物自動車運送に関するこの法律及びこの法律に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主的な活動を促進することにより、輸送の安全を確保するとともに、貨物自動車運送事業の健全な発達を図り、もって(2)の増進に資することを目的とする。(貨物自動車運送事業法)

ア. 効率的	イ. 合理的	ウ. 安定的	エ. 経済	オ. 公共の福祉	カ. 利用 者の利便
--------	--------	--------	-------	----------	---------------

(1) (イ)

(2) (オ)

四国運輸局

法令試験実施状況

実施年月	受験者数	合格者数
令和7年9月	4	4

合格率 100%